



2020年8月7日

各 位

東京都渋谷区恵比寿一丁目20番8号

株式会社オールアバウト

代表取締役社長 江幡 哲也

(コード番号: 2454)

問い合わせ先 取締役執行役員 C A O 森田 恭弘

電話 03-6362-1300

通期業績予想の公表に関するお知らせ

2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)業績予想につきまして、下記のとおり公表いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	17,000	500	490	300	22.78
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	15,604	430	436	200	15.24

2. 公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難なため未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等をもとに算定いたしました連結業績予想を公表するものであります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として予断を許さない状況が続くと思われませんが、本公表は、新型コロナウイルス感染症拡大による再度の緊急事態宣言の発出などの大規模な消費活動の停滞はないながらも、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化し、新たな生活様式への変化による影響が今後も続くとする前提に基づいたものであり、今後の新型コロナウイルス感染症の収束あるいは再拡大の状況等によって変動する可能性があります。

各セグメントにおける今期の見通しは、以下のとおりであります。

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛及び新たな生活様式への変化に伴いインターネットメディアの利用の増加が見込まれる一方、経済活動の停滞に伴い、法人におけるWeb広告出稿等のデジタルマーケティング活動が短期的に減少することから前期比減収を見込んでおります。また、コンテンツマーケティング分野における当社の強みを生かした非連続な拡大を企図したビジネスマッチングプラットフォーム「PrimeAd」への今期投資費用を96百万円見込むなどにより、マーケティングソリューションセグメントの売上高を3,370百万円（前期比7.1%減）、セグメント利益を290百万円（前期比40.8%減）と見込んでおります。

コンシューマサービスセグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によりeコマースの利用が増加し、主力の「サンプル百貨店」の継続的な成長を見込んでおります。一部では、7月の低気温及び長梅雨などの気象影響による売上高の減少を織り込むものの、カテゴリーマネジメントの改善効果が通期で利益向上に貢献するものと想定しております。さらに、株式会社NTTドコモが運営する総合通販サイト「dショッピング」の共同運営を2020年7月から開始したこともあり、コンシューマサービスセグメントの売上高を13,680百万円（前期比13.8%増）、セグメント利益を660百万円（前期比145.1%増）と見込んでおります。

中長期的には、新たな生活様式への変化や企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）が加速すると想定しておりますが、両セグメントともに、こうした変化を好機と捉え、提供サービスや業務プロセスの改善を行い、さらなる事業拡大を図ってまいります。

（注）本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上